



第4回 新進指揮者 コンサート

2022 12/15 THU

三井住友海上しらかわホール
18:00〈開場〉 18:45〈開演〉

全自由席

プログラム

ベートーヴェン：
交響曲第3番 変ホ長調 作品55『英雄』
……………〈岡田 倫弥〉

ベートーヴェン：
交響曲第4番 変ロ長調 作品60
……………〈Ricardo Arzate González〉

お問い合わせ／チケット取扱い

山田貞夫音楽財団事務局 ☎ 052-533-6708
セントラル愛知交響楽団 ☎ 052-581-3851

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

主催：



公益財団法人
山田貞夫音楽財団



Tomoya Okada's profile



指揮 岡田 倫弥

広島市出身。広島大学及び同大学大学院を修了後、昭和音楽大学大学院修士課程音楽芸術表現専攻(指揮)を修了。広島大学在学時及び昭和音楽大学大学院修了時には学長賞を受賞。これまでに指揮を鈴木恵里奈、磯部省吾各氏から学び、昭和音楽大学大学院在籍時には星出豊、大勝秀也各氏に師事。第37回霧島国際音楽祭のマスタークラスにて高関健、下野竜也各氏の指導を仰ぐ。また、熊本県立劇場主催の指揮者講習会にて、山田和樹氏から指導を仰ぎ、その際、横浜シンフォニエッタを指揮。第3回および第4回山田貞夫音楽財団指揮者オーディションに出場し、第3回には山田貞夫音楽賞受賞、そして第4回には山田貞夫音楽賞及び特選を受賞。第4回新進指揮者コンサートにてセントラル愛知交響楽団を指揮。現在、オーケストラや吹奏楽の指揮者として精力的に活動を行っている。

Ricardo Arzate González's profile

指揮
Ricardo Arzate González

(リカルド・アルサーテ・ゴンザレス)

メキシコ生まれで、ヨーロッパで教育を受けた指揮者兼作曲家。トルーカ若手音楽家コンクールに優勝し、国費留学生としてイタリア最高峰の音楽院ミラノ・ヴェルディ音楽院にて作曲と指揮を学ぶ。オーディションで選ばれ、世界的指揮者ジャンンドレア・ノセダ氏の下で研鑽を積む。ミラノ・トリノ国際音楽祭の指揮者に抜擢され、イタリアを代表するサクソフォン奏者マリオ・マルツィ氏、ミラノ・イ・ポメリッジ・ムジカーリ管弦楽団と共演。トリノ新国立歌劇場をはじめ、北イタリアの複数の歌劇場にてオペラを指揮。活躍の場はイタリアに限らず、ハンガリーのブダペストではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と共演し、国営テレビにて放送。日本では全国共同制作オペラ東京芸術劇場シアターオペラ(アッシャー・フィッシュ氏の副指揮)の他、兵庫県立芸術文化センターKOBELCOホール、DMG MORI やまと郡山城ホール、愛知県立芸術劇場等で指揮。2022年山田貞夫音楽賞・特選を受賞し、2023年度よりセントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクターに就任予定。

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクターとして迎えることとなり、2022年度は阿部未来、松川智哉が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。2022年度からは「超!有名曲シリーズ」を含む新たなシリーズをスタートし、2023年の40周年に向け意欲的な試みを企画している。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。